

V章 調査研究・学会発表実績

1 その他の調査研究事業

令和4年度

学会等の名称	題目・論旨(担当課名)	著者名(発表者名)等
第68回 大分県公衆衛生学会	<p>題目：外国出生結核患者の早期受診から治療完遂に向けた方策の検討</p> <p>論旨：保健所管内では毎年結核高蔓延国からの外国出生結核患者が登録されており、言葉の壁や文化・価値観の違い等から受診の遅れ、治療中断リスクが高い等の課題が多々ある。R3年に対応した3事例の振り返りから外国出生患者の結核対策を検討したので報告。治療完遂に向けた方策のポイントとしては</p> <ol style="list-style-type: none"> 結核及び治療計画の正しい理解と動機付け 関係者、関係機関の結核の理解と患者支援の協力の協力 転出入・転居対策 <p>が重要であることが示唆された。</p> <p>(地域保健課)</p>	<p>○河野 さくら 齋藤 百有子 坪根 亀代子 池田 裕美 山下 剛</p>
	<p>題目：COVID-19における今後の医療体制の課題～医療調整をおこなった事例の分析～</p> <p>論旨：COVID-19の感染症法上5類への移行が国より示されたことから、保健所が受診・入院調整した患者について分析し、今後の体制整備に向けた課題について考察。課題としては、(1)幅広い医療機関でCOVID-19患者の対応ができる診療体制の整備、(2)重症化リスク・悪化兆候を探知・評価する仕組みの検討、(3)悪化時に医療機関に繋がる医療連携体制の構築の3点が挙げられ、保健所が担ってきた調整機能の役割を関連機関と検討し、地域医療に落とし込んでいく必要があることが明らかになった。</p> <p>(健康安全企画課)</p>	<p>○芋迫 英里香 池田 裕美 山下 剛</p>
	<p>題目：保健師人材育成指針に基づく地域診断からみえるA市の保健福祉の現状と課題</p> <p>論旨：新任保健師が行った地域診断の結果から、A市の地域資源や健康課題について整理し、今後必要な対策について検討。待機児童や孤立化の可能性等母子に関する課題や生活習慣病に起因する死亡が県や全国と比べて多いことが明らかになった。社会資源やポストコロナに対応した子育て環境の整備、生活習慣の見直しや改善による生活習慣病の早期発見・予防が重要であることが示唆された。</p> <p>(地域保健課)</p>	<p>○江藤 亜美 芋迫 英里香 田畑 美里 武野 真澄 山下 剛</p>
令和4年度 食品衛生監視員・と畜 食鳥検査員・狂犬病予 防員研究発表会	<p>題目：スチームコンベクションオープンを用いた低温加熱調理の検証実験</p> <p>論旨：低温加熱による食中毒事件が全国的に発生しており、管内事業者の低温加熱の方法が製造基準を満たすかを検証するための検証実験を行い、HACCPにおける連続的なモニタリングが可能な管理手法とその指導方法について検討した。</p> <p>(衛生課)</p>	<p>○工藤 寿未礼 美登 加奈子</p>
令和4年度環境衛生 監視員等事例研究発表会	<p>題目：廃棄物不法投棄現場等におけるタブレットアプリを活用した簡易測量について</p> <p>論旨：「LiDAR(ライダー)」と呼ばれる反射光スキャナを搭載したタブレット端末を活用して、産業廃棄物不適正保管現場を撮影し、3D画像として保存。当該3D画像を用いて、廃棄物の保管状態を視覚的・定量的に事業者へ伝達し、是正の指導を行ったもの。</p> <p>(衛生課)</p>	<p>○坂本 光</p>
第45回(2022年度) 大分県看護研究学会	<p>題目：小児慢性特定疾病児の自立支援に向けた一考察 ～成人期へ移行する対象者との療養生活の振り返りをとおして～</p> <p>論旨：成人期へ移行する小児慢性特定疾病児の当事者及び家族と共に療養生活を振り返り、慢性疾患を抱える児童の自立に向けた支援について考察したもの。支援者として、小児慢性特定疾病児の疾患理解、自己管理の促進・自己決定能力の育成、こどもの社会化と関係機関との連携の3つの視点を押さえた支援の必要性が示唆された。</p> <p>(地域保健課)</p>	<p>○服部 優花 泥谷 治美 江藤 亜美 田畑 美里 武野 真澄</p>
第15回(2022年度) 宇佐・豊後高田地域 看護研究発表会	<p>題目：北部保健所管内における結核患者の治療完遂に向けた連携のあり方</p> <p>論旨：大分県は全国ワースト10位以内に入る等高い結核罹患率を有している。北部保健所圏域の結核罹患状況は、そのような中でも高い結核罹患率を有し、患者の70%を高年齢者が占め、若年の患者の多くは外国人労働者である等、様々な対象に応じた結核対策が必要となっている。北部保健所管内で平成30年1月1日から令和2年12月31日に治療が終了した結核患者について①診断名別の患者数、②発見の遅れの有無、③治療開始前の痰検査の実施状況、④治療後半の菌検査状況、⑤地域DOTSの実施状況を分析し、地域完遂のための関係機関の連携のあり方を検討した。</p> <p>(地域保健課)</p>	<p>○岩永 章太郎 遠入 玲子 河野 さくら 坪根 亀代子 池田 裕美 山下 剛</p>
第16回(2023年度) 宇佐・豊後高田地域 看護研究発表会	<p>題目：大分県北部保健所におけるコホート検討会から見えた課題とその後の取組 ～豊後高田保健部に焦点を当てて～</p> <p>論旨：当保健所におけるコホート検討会資料を分析し、課題を抽出。課題解決のため実施した事業について分析し、考察。課題として、①外国人出生者の増加と支援 ②診断の遅れ ③服薬日数不足や治療終了時の喀痰検査未実施ケースがあり、課題解決のため実施した各種事業について検討したもの。</p> <p>(地域保健課)</p>	<p>○田畑 美里 武野 真澄 山下 剛</p>